

北陸地域施設園芸シンポジウムin富山 ～北陸から始まるサステナ園芸～

気候変動対応のため、化石燃料を多用する施設園芸は持続可能な生産システムの転換が急務です。

北陸地域は地域資源の活用やスマート農業の導入により、モデル地域となる可能性を秘めています。

今回のシンポジウムは、2027年3月に
「環境と共に生きる、みんなと共につくる」をテーマ
として開催される「GREEN×EXPO 2027」
に向けたキックオフの一環として開催します。



(目時)

●令和8年3月2日(月)シンポジウム 13:30~16:00
(同時開催 資材メーカー等によるブース展示: 13:00~17:00)

●令和8年3月3日(火)現地検討会 9:00~12:00

【会場】

富山国際会議場(富山市大手町1-2)

【開催方式】

対面(定員150名程度) (参加無料)

会場で参加できない場合でもオンラインで視聴できます

【参加】

各種参加・ブース出展のお申込みは
以下のURL・二次元コードのHPをご覧ください。

(※ブース展示の見学のみ参加の場合、申込不要です)

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/seisan/260116.html>



【主催】 農林水産省北陸農政局

【協力】富山県、(一社)日本施設園芸協会



食と農で 明日をつくる

©Expo 2027

-GREEN×EXPO 2027全国連携プログラムに登録された活動です-

【3月2日（月）】シンポジウム

13:30～16:00

①基調講演

「大規模施設園芸を巡る情勢と将来展望」

農研機構野菜花き研究部門 所長 東出 忠桐 氏



北陸のサステナ
園芸って
何だろう？

「技術的・経済的に持続可能（サステナブル）な植物工場 システムの現状と将来性」

NPO法人植物工場研究会 理事長 林 紘理 氏

②北陸地域における施設園芸取組事例発表

「次世代施設園芸拠点：廃棄物発電・排熱を活用したトマト栽培」

（株）富山環境整備（富山県富山市）



「農業用水の排水を利用したマイクロ水力発電を活用したいちご栽培」

いちごファームHakusan（北菱電興（株））（石川県白山市）



「人工光型植物工場におけるLEDを使用したリーフレタス等の 多段式DFT（湿液型）水耕栽培」

（株）ツバキベジムーブ（福井県小浜市）



施設園芸関連技術・取組のブース展示 13:00～17:00

シンポジウムと同時開催で、パネル展示やカタログの配布など、
技術・取組内容の紹介を通じた、生産者・農業団体・行政関係者・
メーカー間の交流の場を設けます。

（※ブース展示の見学のみ参加の場合、申込不要です）



資材・機械メーカー
と情報交換できる
チャンスです！

イメージ



【3月3日（火）】現地検討会

9:00～12:00

次世代施設園芸拠点である（株）富山環境整備を訪問し、
廃棄物発電・排熱を活用した施設ハウス栽培の様子を見学します。



次世代の
施設園芸を
見に行こう！

先着20名程度（参加無料、富山駅からバスで移動します）
※自家用車での参加はご遠慮ください。



JR富山駅集合（9:00）～（株）富山環境整備見学（1時間程度）～JR富山駅着・解散（12:00目処）